

平成 29 年度 事業計画

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

最近の我が国経済は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いています。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されています。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

本県経済は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いています。先行きについては、雇用環境の改善や経済対策などを背景に、緩やかに回復していくことが期待されています。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

政府は、東日本大震災からの復興・創生に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していくため、「経済財政運営と改革の基本方針2016」、「日本再興戦略2016」、「規制改革実施計画」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2016」及び「ニッポン一億総活躍プラン」を着実に実行することとしています。さらに、働き方改革については、3月28日に「働き方改革実行計画」を決定し、早期に関連法案を提出することとしています。また、デフレから完全に脱却し、しっかりと成長していく道筋をつけるため、「未来への投資を実現する経済対策」及びそれを具体化する平成28年度第2次補正予算及び平成29年度予算を円滑かつ着実に実施することとしており、我々経済団体としても大いなる期待をもって注視しています。

さて、本県においては、今年3月に北陸新幹線開業2年となりましたが、この1年間の利用者数は858万4千人となり、在来線特急の頃の2.74倍で、依然として開業前の想定(2.2倍)を大きく上回っています。地域の観光振興や産業・地域の活性化などを推進する絶好のチャンスであり、開業効果を更に高めるための取り組みを積極的かつ戦略的に進める必要があります。

県下の商工会議所においては、行政や関係団体と連携協力し、まちづくりのための実施方策等、具体的な検討を進めているところですが、富山の豊かな自然や食、歴史、文化、街並みなどの発掘・活用等により、都市部や県内外から多くの人々が何度も訪れる魅力あるまちづくりや観光振興、産業・地域の活性化など地方創生のため、引き続き努力していかなければならないと思います。

また、引き続き、商工会議所の使命である中小・零細企業を全力で支援していくことも大切です。

本連合会としましては、今後とも、各商工会議所との緊密な連携と協力のもとに、こうした目的の達成に努めるとともに、商工会議所が重点事項に掲げた諸施策の実

施等に努め、県内経済の活性化と元気で活力ある富山県の実現に寄与していかなければならないと考えております。

1. 商工会議所が重点項目に掲げる諸施策の実現や促進のための支援・協力

- ① 地域活性化・地域振興対策の推進
- ② 中小企業支援体制の強化
- ③ 雇用対策の推進
- ④ 商工会議所活動の強化
- ⑤ 総合交通体系の整備促進
- ⑥ 環境保全・資源保護の推進
- ⑦ 中心市街地活性化の支援
- ⑧ 地場産業の振興
- ⑨ 観光の振興
- ⑩ 国際交流・貿易振興対策の推進
- ⑪ 学術・文化の振興

2. 国、県、県議会、地元選出国會議員等への政策提言、重点事項等の要望・陳情

- ① 知事と役員等との懇談会 10月27日(金)
- ② 知事に対する重点事項要望(予算関連含む) 必要に応じ実施
- ③ 自由民主党富山県支部政務調査会に対する平成30年度予算要望 9月頃

3. 関係団体等との連携協力事業の実施

- ① 北陸信越ブロック商工会議所会頭会議
10月3日(火) 石川県白山市内
- ② 北陸信越ブロック中小企業相談所長会議・先進事例普及研修会
11月1日(水)～2日(木) 石川県加賀市内
- ③ 県内経済5団体新春互礼会
平成30年1月4日(木)
- ④ 北陸三県縦断ビジネスチャンス創出プロジェクト・第12回とやまビジネスドラフト 平成30年3月、富山市内
- ⑤ 富山県内8商工会議所合同会員ビジネス交流会
平成30年3月、富山市内

4. 総会、専務理事会議、人事管理委員会などの開催

- ① 通常総会 6月30日(金) ANA クラウンプラザホテル富山
- ② 専務理事会議 年2～3回
- ③ 人事管理委員会 年2～3回

5. 県、関係機関、団体などの事業に対する協力・参加

- ・ 助成、共催、後援、協賛など

6. 職員の資質向上のための経営指導員等の研修会等の実施

- ① 経営指導員先進地視察研修 9月または10月

7. その他、会長が必要と認める事業